

記者発表資料

平成30年7月4日
国土交通省
大分川ダム工事事務所

大分川ダム 常時満水位 到達！！

～試験湛水をはじめて水位が約38m上昇しました～

大分川ダムでは、平成30年2月20日より試験湛水を開始しております。4月5月は少雨のため貯水位の上昇が緩やかでしたが、台風7号の降雨もあり7月3日20時22分に、「常時満水位（EL. 176.4m）」に到達いたしましたので、お知らせいたします。



今後、6/11～10/20の期間、洪水発生時には常時満水位 EL.176.4mからサーチャージ水位 EL.195.8m までの 19.4m の水位幅で洪水処理を行います。

なお、試験湛水の様子については、大分川ダム工事事務所HPにおいても随時紹介しております。

大分川ダム工事事務所HP <http://www.qsr.mlit.go.jp/oitagawa/koujisyasin.html>

【常時満水位とは】

利水容量の810万 m^3 が貯留された状態になります。

【試験湛水とは】

ダム本体の安定性及び貯水池周辺の異常の有無等を確認するため、試験的に将来ダムで貯め得る最高水位（洪水時最高水位）まで水を貯め、さらに最低水位まで水位を低下させます。

《問い合わせ先》

国土交通省 九州地方整備局 大分川ダム工事事務所

TEL：097-538-3391（代表） FAX：097-538-3850（調査設計課）

技術副所長 池浦 光文（いけうら みつふみ）

調査設計課長 杉田 聡（すぎた さとし）

大分川ダム試験湛水の様子

<堤体天端より>

平成30年2月20日



平成30年7月4日



<第2展望所より>

平成30年2月20日



平成30年7月4日



<常用洪水吐から越流の様子>

